

2024年2月29日

手術支援ロボット製造販売会社の定める certification 取得費用無償化のお知らせ

ロボット支援手術の安全性が確認されるようになり、国内ではその適応症例が各領域で飛躍的に増加しています。また、日本内視鏡外科学会は2022年5月に「消化器外科領域ロボット支援内視鏡手術導入に関する指針」を改訂し、消化器外科領域の術者要件を大幅に緩和したことにより、若手医師によるロボット支援手術の執刀機会も急速に増えてきました。

これまでロボット支援手術の certification を取得するためには、製造販売会社が定める高額なトレーニングコースの受講が必須でしたが、このルールは急速に広がりつつあるロボット支援手術の術者養成の現状に徐々にそぐわなくなってきたと考えています。

そこで、本会は手術支援ロボットの各製造販売会社と certification 取得費用に関する交渉を進めた結果、下記の通り、全領域での取得費用を漸次無償化とすることをお知らせいたします。

記

手術支援ロボット製造販売会社の定める certification 取得費用の無償化

無償化開始日：2024年4月1日以降、漸次（各社により異なる）※

対 象：全領域での Wet Labo を含めた certification 取得トレーニングコースのすべて

※ 無償化の開始が決定しましたら、順次お知らせいたします。

インテュイティブサージカル合同会社 2024年4月1日より無償化

※トレーニングコースの申込みは、certification 取得後1ヶ月以内に当該製造販売会社を使用したロボット支援手術予定がある方に限ります（2024年4月30日追記）。

以上

一般社団法人 日本内視鏡外科学会

理事長 北川 雄光

ロボット支援手術検討委員長 竹政伊知朗